

# こんぺいとう通信

2004

9

教室で皆さんにパソコンをお教えしていて時折聞かれるのは、「ワードは私に必要でしょうか？」とか「私にエクセルは必要ないですよねぇ？」という問いかけです。そんなとき私は、ワードやエクセルの使い道や面白さについてはご説明しますが、あまり興味を示されない方には、それ以上無理にはお勧めしていません。パソコンというのは皆さんにとって「ジグソーパズル」や「プラモデル」のようなものではないかと思っているのです。

振り返ってみると、仕事でパソコンを使っている人を除いて、一体どれだけの人が、ワードで美しくレイアウトした文書を作成したり、エクセルの関数を使う必要があるでしょうか。そういった意味では、パソコンそのものが「どうしても必要な人」というのは、そう多くはないような気がします。パソコンが必要な人というのは、パソコンを道具として利用する人でしょう。例えば私などは、この教室便りを作ったり、生徒さんの受講管理をするためにパソコンを使います。パソコンがなければ非常に不便です。しかし先月号でも書いたように、最近ではパソコンそのものが目的であった時には感じていた「ドキドキ感」が、今ではだいぶ薄れてしまっています。その一方で、教室にいらっしゃる生徒さんたちは、皆さんパソコンを楽しんでいらっしゃるご様子です。大半の方にとって、日常生活の中で「インデント」や「IF関数」が必要になる場面などないはずであるにもかかわらず、です。

必要か、必要でないか。それは重要ではないような気がします。5千ピースのジグソーパズルを夢中になって組み立てて人に、「あなたにパズルは必要なんですか？」とか「何かの役に立つのですか？」という質問は意味を持ちません。大切なのは、ただそれを面白いと感じるかどうかではないでしょうか。必要に迫られて嫌々やる人もいれば、必要性はなくても嬉々として打ち込む人もいます。今、私の目の前で、先ごろ定年退職された方が、エクセルを操作しています。そして、思い通りの答えが出たのを見て本当に嬉しそうにされています。その姿は、かつて実用性を度外視してパソコンを楽しんでいた頃の自分の姿と重なって見えます。この先その方が、エクセルを必要とする場面は恐らくないでしょう。けれどもその方にとって、エクセルはきっと「必要」であるのに違いありません。あんなに楽しそうになさっているのですから。

そう考えると、なんだかパソコンって恋愛に似てるような気がします。相手が必要だから好きになるのではなく、好きだからずっと一緒にいたくなるんですよ、きっと。よく思い出せないんですけど… (-\_-; 〆イイ

## 教室からのお知らせ

### 新サービスを開始します（リモコン・サポート）（仮称）

9月より「リモートアシスタンス」を利用したサポートを開始します。

リモートアシスタンスというのは、Windows XP に標準で搭載されている機能です。離れた場所にいる上級者にインターネットを通じて自分のパソコンを操作してもらい、手助けをしてもらうことができます。

いろはパソコン教室でも、パソコンのトラブルについて生徒さんからお電話でご質問を受けることがあります。電話でのやり取りでは画面が見えないため、なかなか思うように意思の疎通を図ることができません。けれどもこの機能を使えば、自宅にある皆さんのパソコンを、私が教室から操作することができるので、直接トラブルを解決できるようになるわけです。

リモートアシスタンスの機能を利用するためには①Windows XP であること②インターネットがご利用になれることの2点が条件で、利用前に簡単な登録が必要となります。費用はかかりません。

教室に通われている方につきましては、サービスの利用料はいただきませんので、お気軽にご利用ください（休会中・退会後の方は有料となります）。ただしサービスは原則として①教室の空き時間を利用②1回につき15分以内③内容はパソコンの設定やトラブルについて、とさせていただきます。授業の妨げにならない範囲でと考えていますので、ご理解ください。詳細はお問い合わせください。

パソコンには全く無縁だった私が、1年前から青色申告会の役員を受けたのが元で、いろはパソコン教室の下で楽しく進んできました。

家ではやらないので、打つのもとても遅いです。教室での時間は本当の自分の時間だと思っています。いつも新発見で、こんなお利巧なものがこの世の中にあっただのかと感心し感激しています。

坂巻先生の指導は、本に沿って進み、解らな

かったら元に戻る(そのページは暗記している)という方法です。だから、おばあさんの私でもここまで来られました。

授業が終わってから、水からこだわったコーヒーをご馳走になる時は、最高に嬉しくホッとします。



長野さんは全くの初心者として、文字通りからパソコンを始められました。教室に通い始めた当初はパソコンをお持ちではなかったので、週に1回、教室での勉強だけでした。1週間に80分の練習だけでは、家や職場でパソコンに触ることができる方に比べて、習得にはだいぶ時間がかかってしまいがちです。そんな不利な状況の中、それでも長野さんは、コツコツと地道に努力を重ねられ、ついにワードの初級のテキストが終わりに近づいてきました。焦ることなく諦めることなく、無心な様子でパソコンに向かう長野さんの姿を拝見するたびに、心の中で「フレーフレー」と応援したくなります。そして、長野さんの「ホッとした」ご様子に、私もホッとしているのです。

知識の泉～パソコン豆知識

インスタント・メッセージ

インターネットに接続している人どうしてメッセージのやり取りができるソフトウェアの総称です。

やり取りできる内容は文字の他に、音声や映像も可能です。パソコンにマイクやWEBカメラをつなげば、パソコンがたちまち「テレビ電話」に早変わりします。しかも、インターネットの回線を利用するために、利用料はインターネットの接続料金以外、一切かかりません。つまり、遠く離れたお友だちの顔を見ながら一日中話していてもタダ、ということになります。

メッセージのソフトには、以前ご紹介した「ヤフー・メッセージ」の他に「ウィンドウズ・メッセージ」や「MSNメッセージ」などがあります。今回ご紹介した「リモートアシスタンス」を利用するのであれば、ウィンドウズ・メッセージの利用が便利ですよ。

少しでも興味を持たれた方は、さっそく教室で試してみましょね。

液晶ディスプレイをお譲りします

教室で使用している15インチの液晶ディスプレイを2万円でお譲りします。今年の4月に購入したもので、保証書付の良品です。教室では17インチが必要になったために手放さなければならなくなりました。ご希望の方はお申し出ください。

笑劇のニュース <インターネットで見つけた出来事>

福岡市の男性職員が勤務時間中にタケノコ掘りを繰り返していたとして、市が口頭で厳重注意していたことが24日分かった。職員は2年前にも上司に注意されたが、勤務中のタケノコ掘りをやめなかったという。

市環境局施設課によると、職員は同市西区にある市の出先機関に勤務する40代男性で、今年5-6月、敷地内にある竹林で5、6回、タケノコ掘りをした。勤務中に皮をむき、ゆでていたこともあった。自宅に持ち帰ったり、同僚に分けたりしていたという。

今年7月に市民から投書があり、市が調査。職員は「病気で落ちていた体力の回復のためにやった。時間を忘れて掘ってしまった」と話しているという。

(Sankei Web 8月24日)

☺ちの実家の裏にもタケノコはありますが、そんなに夢中になるほど楽しくは…

この夏は皆さん寝不足だったのではないのでしょうか。私も眠い目をこすりながら日本選手の活躍を楽しみにしていたのですが、ついウトウトしてしまいハッと気が付くと出番が終わっていたこともしばしばでした (ToT) (坂)